

新たな広域自治・行政のあり方研究会 第4回会議の開催結果について

資料 7

関西広域連合の今後のあるべき姿や担うべき役割等について検討する「新たな広域自治・行政のあり方研究会」の第4回会議を開催した。



関西広域連合

令和8年9月26日
本部事務局地方分権課

会議の概要

- 1 日 時 令和8年9月17日(木) 15:00~16:30
- 2 場 所 滋賀県危機管理センター 災害対策本部室
(オンライン併用)
- 3 出席者 三日月広域連合長、西脇副広域連合長、吉村副広域連合長、
新川ファシリテーター、谷アドバイザー
- 4 意見交換のテーマと主なコメント

【テーマ】

- ・ 広域自治制度のあり方（副首都・道州制について）
- ・ 関西広域連合が取り組むべき分野・事務（広域行政のあり方について）

【主なコメント等】

① 広域自治制度のあり方（副首都・道州制について）

- ・ 広域連合を核として、関西が首都圏とは異なるもう一つの極となるよう、構成府県市と連携しながら、副首都の実現に取り組んでいきたい。
- ・ 広域連携の重要性はますます高まっているが、現時点で道州制への移行を結論づけることは時期尚早であり、国全体での議論がなされるべき。

② 関西広域連合が取り組むべき分野・事務（広域行政のあり方について）

- ・ 連合長試案について概ね賛成。
- ・ 各構成府県市と関西広域連合の両方で実施しているような非効率な事業については、事務の見直しなどを検討すべき。



(参考) グラフィックレコーディング①



(参考) グラフィックレコーディング②

